



三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

三條別院に最初に訪れたのは、小学三年の時に、父と得度考査にどきどきしながら、お参りした夏でした。所長室が今の松葉幼稚園の二階で、考査を受けた記憶がごさいます。

それから、高校の頃に三條夏のつどいのお手伝いをしまして、スタッフとして参加して、別院に縁が多くなってきました。児連スタッフとして子供会の活動に若者僧侶が別院に集い、人形劇や紙芝居をしたり、子供達にお経を教えたり、熱心に活動させて頂きまして、なつかしい思い出として残っております。その当時の夏のつどいは、バス二台と、大変多くの参加者があり、活気に溢れており、事故のないようにと気を使った若院時代の別院の思い出であります。

その後住職になってから十五年が過ぎ、組の仕事で別院に関わる様になり、蓮如上人五百回御遠忌法要、そして五月に厳修された親鸞聖人七百五十回御遠忌には組長として、遇うことができまして感謝でいっぱいでした。組長として、団参の取り纏め、出仕者の取り纏め、帰敬式の受式者の募集等、あらゆる仕事をさせて頂きました。

全体的に第十七組の帰敬式の受式者が少なく残念な結果でありました。この度の御遠忌の反

省点、問題点が今後の別院のあり方を問う事となるのではないのでしょうか。問題点については、さまざま考えられるでしょうが、日程六日間という事が短かかったという声がありました。三千人という方が参加したと言っても、一ヶ寺あたりの人数は少なかった訳であります。別院奉仕団や報恩講は、もちろん多くの方のお参りを今後募集していけばいいのではないのでしょうか。法要式次第について思うのですが、法要部門の方々が考えられた事でしょうが、御遠忌という特別な五十年に一回という重い法要式次第が、あまりにも専門的で、難しい儀式でありました。個人的には、同朋唱和をもう少し取り入れてほしかった思いでありました。儀式作法講習会の回数を増やし、研修を重ねていけば、良かったと思われます。最後になりますが、この度の御遠忌に関わった門信徒の方々、スタッフ、寺院役職者の方々、おつかれ様でございました。これからの別院が発展し、念佛道場になる事を願っております。

合掌

第十七組慶應寺住職 松原 秀哉 氏

○次回の「三條別院に想う」は、

今湊 良信 氏 (第二十一組勝念寺) より

ご執筆いただきます。

朝の人生講座が行われました

夏の早朝の涼しい時刻に行われる法話会を、通例は暁天講座といい、全国各地の寺院で行われていますが、三條別院では「朝の人生講座」という名で親しまれております。十数年前の資料をみると、パンフレットに地域の商店に広告を出していたとき、その資金でラジオCMを流していた時代もあるようで、現在では地域の方々に親しまれる行事となっております。なぜ「人生講座」という名前であるのか、講師選定会議で話題に上がったことがあります。人生講座とは「講師が歩まれてきた人生と仏教が交差するところのお話し」を



【関崎氏 (右上)、池田氏 (右下)、草間氏 (左上)、安富氏 (左下)】

していただくということではないか、という意見もありました。

本年の講師・講題は以下の通り。二十日 関崎智弥氏（第十八組重蓮寺）「あなたも大切、わたしも大切」、二十一日 池田陽氏（第十八組長周寺）、二十二日 草間あつ子氏（第十二組勝覺寺）「いのちからの願い」、二十三日 安富信哉氏（教

学研究所長、第二十二組光濟寺）「聞思の生活」。最終日に安富先生は、ただ念仏を称えなさいという法然上人の教えの一面には阿難に象徴される聞法と弥勒に象徴される思惟とがあり、思惟とは三宝の礼拝につながる指摘されました。

世俗の知識が氾濫し、それにふりまわされる毎日の中で、朝の静かな時間、仏法に耳を傾け聞思する時間が、現代人には必要なのではないかと感じた四日間でした。

秋彼岸会のご案内

本年も、秋彼岸会を勤修いたします。例年通り朝の人生講座を期間中毎朝開催します。

◇日時 九月二十四日(木)～二十六日(土)
※彼岸会の詳細は案内チラシをご覧ください。

宗祖御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◇日時 九月二十八日（月）午前十時より
◇会場 三条別院 本堂
◇お勤め（御命日 日中法要）
文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五
和讃 回口 次第六首
◎今月の法話講師
村山 まみ 氏（真宗学院第一期卒業生）

◆今年度の御命日の集いは講師がであられた『教義抄』の言葉も紹介していただきます。

◇今後の講師一覧
十月 朝倉奏 氏（第二十組 金寶寺）
十一月 富岡教潤 氏（第十八組 圓性寺）
十二月 田澤一明 氏（第十九組 明誓寺）

定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催します。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後一時三十分より（二時間程度）

◇場所 三条別院 旧御堂
◇講師 九月～十二月 黒田真氏（第十二組 法蓮寺）

清掃講（庭講）始動！

別院境内地の清掃および聞法を活動内容とする清掃講（庭講）がいよいよ始動いたします。九月一日に結成式を行い、十月から活動を開始予定です。趣旨にご賛同いただける方はぜひ、当別院までご連絡ください。

その他の講座案内

◎別院声明教室（全五回）

〔月一回、午後六時～八時〕
八月二十日(木)〔済〕、九月十七日(木)
十月十四日(水)、十一月十九(木)
十二月十七日(木)

講習内容 正信偈 草四句目下
講師 關根大丘氏（第二十組 松韻寺）
参加費 五〇〇円/回

◎別院書道教室

〔月一回第二、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕
講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）
月謝 一五〇〇円（テキスト代含む）

随時募集中

◎三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

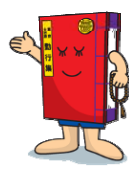
◎別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代（昼・夕食は業者発注のため）

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度
・夕食代 一三〇〇円程度



○別院特別参拝

皆様の御懇念により御修復が完了した本堂・講殿をご案内いたします。

◎日程

- ・勤行（修復の完了した本堂にて同朋唱和）
- ・三条別院の歴史について
- ・諸殿拝観（修復箇所を中心に説明いたします）

本堂・旧御堂・書院・同朋会館・駒札

◎冥加金 金額は定めておりません。

◎その他 お土産に宗祖御遠忌を記念し「創業文政敦賀屋長吉 つるがや」さんによりつくられましたお菓子『越佐の国』三条別院なむの里』を是非ご利用ください（事前注文文必要）。

○三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしているご門徒からはじめた清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。参加希望の方は、ぜひ別院までご連絡ください。

私たちが別院有志の会です！

朝日の眩しさに起こされ、まだ涼しさの残るなか、いつもの様に別院のお朝事に向かっていきます。私がお朝事に行く様になって、早いもので一年が過ぎました。

私が初めて、これが阿弥陀様の教えなのかな、と感じた事を書きたいと思います。

昨年の報恩講の時に、スタッフとしてお手伝いしてみませんか、と誘われ、お手伝いをさせてい



いただきました。お参り頂いた御門徒さんに下足袋を渡し、またお帰りの時には袋を受け取るお手伝いです。この時、御門徒さんに、にっこりと受け取ってくださる人、そうでない人、色々な人がいました。せつかくのお参りです、にっこりと笑顔で受け取ってもらえるには、何をすれば良いのか？これが私の仕事です。色々な事を考え試してみました。大きな声で挨拶、差し出す高さ、形、タイミング、色々変えてみましたが、中々にっこりしてもらえません。

そうこうしているうちに、段々と笑顔で受け取ってもらえる様になってきたではありませんか。何がそうさせたのでしょうか？それは、私が一番大切なことを忘れていたからでした。私には御門徒さんに対し、お参り頂いた感謝の気持ちが無かったのです。にっこりと、「お参り頂きありがとうございます」とお参り頂きありがとうございます」と気持ちを入れた笑顔で手渡せば、「ありがとうございます」と、「ありがとうございます」と、笑顔が返ってくるのです。私が笑顔を作ってやるのではなく、笑顔になれるお手伝いをする事なのだと思います。

しかしながら、ここからが一番大切なところなのです。この時、私は、「これは、阿弥陀様の教えだ」と、独り合点で思い込んでしまったのです。これは本当に阿弥陀様の教えなのか、そうでないのか？そもそも阿弥陀様の教えとはどういうものなのかわからないのです。一番大切なところが欠けているのです。日々の生活の中でも、教えを見過ごす事になってしまいます。毎朝お朝事で、法話座談と回を重ねてはいますが、大切な教えが身につけていません。

少しでも良く、多く、阿弥陀様の教えが身に付く事ができる様、これからは精進に務めたいと思います。（山田 一良）

◆編集後記◆

三条別院に勤務させて頂き四ヶ月が経ちました。毎日が忙しく過ぎていく次第です。

八月は、福島から十人位の子供たちが保養で来られ五日間楽しく過ごしていました。

火花をしたり海に行って泳いだりしている子供たちの笑顔を見て、子供の笑顔というのは力を与えるものだと感じました。残りの三日は、三条教区の夏の集いのキャンプに私も参加して、自然の中で貴重な体験をさせて頂きました。普段、当たり前に使っている「火」を火起こしからすることを試み、中々、火が起きなく、普段使っているガスコンロやライターなどの有難さが身に染み、当たり前になってきている日常生活の大切さを感じることができました。当たり前前を何も考えずに過ごしていた私が怖くなります。

今月の一九日から二十三日までの夏の人生講座におきましては、毎日朝早くから沢山の御参詣ありがとうございます。初めて夏の御文を拝読させて頂きました。緊張しながらの拝読でした。有志の会の皆様方、御協力力有難う御座いました。

八月末日に本山より列座見習いの辞令を頂き、藤井と森尻が任命されました。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。（藤井）

